

続・ふるさと

芳志戸八景の絵馬④

今回は、奉納された絵馬の八景のうち、⑤惣郷地水雞 ⑥立海道逆木についてである。

⑤惣郷地水雞
湿地であったこの地は、2回の土地改良事業により、昔の面影がなく、良質の水田に変わっており場所も確定しがたい。

惣郷地水雞
地程一里有奇
央沢畔
纒存輪傍揺爽
々水雞
音信処植頭細
涼叩赤
夜とともに
叩く水雞の
水の戸に月影さへも
くらさ沢の辺
中郷 関口美子書



⑥立海道逆木



⑤惣郷地水雞

⑥立海道逆木
立海道沿いに逆木八幡宮があり、そこに源義家の鞭が根づいたという大木

夜になるにつれ水雞が水面をたたく音や、水門に月の影が落ちてからもなお暗い、惣郷地の水辺であると詠んでいる。

第14回

があり、切ったときに赤い血が流れたといわれる。

立海道逆木
源將義家奥征
掃植鞭勿枯永
神威逆枝連葉
經千載老幹横
肥今幾囀
さかさまに植えた鞭の
そのまつに枝葉しけれ
ちとせふる幹
秋葉邸大谷津録郎書
逆さに植えた鞭から枝葉が延び茂り、千年も経つ幹であると詠んでいる。
⑤を書き写した人は、中郷の関口美子さんである。
⑥を書き写した人は、秋葉邸の大谷津録郎さんである。

編集後記

□4月から広報の担当となり、慣れないカメラやパソコンを使った作業に四苦八苦しています。
□カメラを手に外に出る機会も増え、撮影をしながら春を満喫。自分の足で歩いて身近に春を感じるのは久しぶりで、新鮮な気分です。
□わが家の2匹の猫も春の陽気に誘われて、一日中外出しています。
□自由気ままな猫が羨ましくもありませんが、広報1年生の私は修行あるのみ。どうぞよろしくお願ひします。
(サ)



Streptopelia orientalis
(全長33.0cm)
(東方に住む頸に模様のあるハト類)

野生のハトで最もポピュラーな野鳥である。体全体はブドウ灰褐色で、翼は黒く羽縁は赤褐色で鱗状に野模様になっているので、キジの雌の上面に似ているからキジバトと名前が付いた。

首の部分に青と白い模様は特徴である。食性は植物性の餌を食べる。繁殖は人家近くの木の枝に枯れ枝を二層くらいに重ねて簡単な巣を作る。糞はもちろん隙間より下に落下する。抱卵の時に卵が落ちないか心配になる。

他の野鳥にない、キジバトだけの給餌はミルクを与えることである。親は植物性の食物を嚙嚙でピジョン・ミルクという動物性タンパク質に変えて口移しでひなに与える。

ハトは平和のシンボルと言われるが実際は臆病なくせに仲間同士で餌争いが激しい。県南から埼玉県北部に天然記念物のシラコバトが生息している。

■編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>
■苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898

